

デュアルシステム



「企業実習」便り 第3号

～学校と地域(企業・事業所)

が一緒になって若者を育てる～

## 「企業実習」開講式

4月14日、デュアルシステム「企業実習」の開講式をおこないました。当日は実習先の企業・事業所の方や保護者の方にも参加いただき、八百津町長金子正則様、八百津町商工会会長佐合重光様、本校校長より激励をいただきました。

\* 金子様:「仕事をする事について、肌で感じ、耳で聴き、目で見ると絶好の機会であり、町民の支援のもとに自らを研鑽し成長することを期待している」

\* 佐合様:「長時間、初めての環境で初めての体験をするのは相当きついと思うが、実習を通じて一回り大きい人間になる力を身につけてほしい。そして、地元企業の心意気を汲んで、1年後に心からお礼の言葉が言える実習になることを期待する」

\* 校長:「この実習は八百津町で学び、八百津町で育つプログラムであり地域への感謝を持とう。実習先でのさまざまな工夫を見つけ、自分の気づかなかったことや不足していることを学校に持ち帰って力をつけるよう努力するとともに、仲間にもそれを広めてほしい」

実習生も一人一人が実習先に即した抱負をスピーチし、参加していただいた方に決意のほどを聞いていただきました。会の終了後、実習生が企業の方と和やかに歓談している姿が印象的でした。



八百津町長様より激励



実習生、抱負を語る

## \* 実習生の抱負を紹介

- ・人間的に成長し、自分から積極的に動けるようにしたい。
- ・お客様と笑顔でしっかりとコミュニケーションをとりたい。
- ・精神的な強さを身につけたい。また、学んだことを部活動で活かしたい。
- ・実習を通じて仕事をするとはどういうことなのかを考えたい。
- ・「実習生といえどもスタッフである」という意識を常にもって臨みたい。
- ・命を預かっているという意識(保育園)、衛生面に配慮する意識(食品会社)をしっかりと持つ。
- ・あいさつを大きな声でしっかりする。そして社員の人たちとたくさん話したい。
- ・体調管理をしっかりとし、絶対に休まない。

## 校内研修

開講式後は実習に向けて午後から校内で研修を受けました。

第5限:「安全意識」、「守秘義務」について

工藤教頭先生の講義を受けました。

第6限:「健康管理法」

養護教諭の宮井先生の講義を受け、あわせて手洗いの重要性について

実習をおこないました。

## 4月21日 実習初日

いよいよ実習が始まりました。「出勤時に実習先へと向かう生徒の姿を見かけたよ」との本校職員の話、「良好な感想をいただきました」との巡回担当者話から初日はまずまずの出足であったとホッとしています。

しかし、実習日誌の反省欄はいま一つ具体性に乏しい

ものが多く、「これではどんなところに関心が向いていたのか、何を感じたのかが企業の方に伝わらない。

小さなことでいいから具体的な感想を書こう」と確認しました。

実習は始まったばかりです。商工会会長さんのおことばにありましたように、1年間は長く厳しいものだと思いますが、実習生の力を信じ、学校と企業・事業所が連携して若者を育てていきたいと思っています。



商工会会長さまより激励